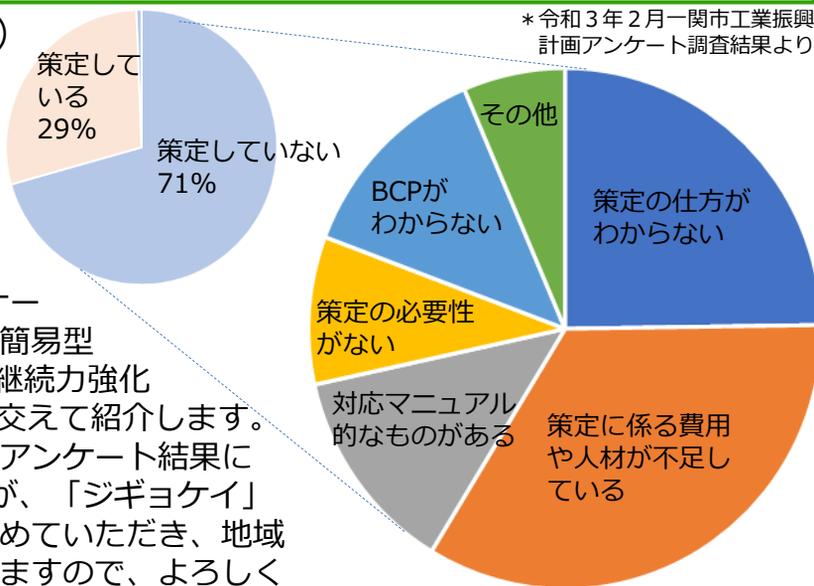


News

BCPセミナーの参加者募集について 併催) 第230回産学官イブニング研究交流会

今年度のBCPセミナーは、12月21日(水)に開催いたします。第230回産学官イブニング研究交流会との併催で開催し、交流会の部も準備しております。交流会は、まだ定期的に行うことができる状況ではないと思いますが、感染対策にご協力いただき、スモールスタートで再開していきたいと思っております。本題に戻りますが、今回のセミナーでは、国の認定制度として確立されている簡易型BCP(Business Continuity Plan)「事業継続力強化計画(略称：ジギョケイ)」について事例を交えて紹介します。右の図は令和3年2月一関市工業振興計画アンケート結果によるBCP策定率(現状30%以下)ですが、「ジギョケイ」認定取得後のメリットについても理解を深めていただき、地域の策定率アップにつなげたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。参加者募集は11月より開始します。



BCPを策定していない理由

Topics

第34回品質管理検定 合格発表(速報)

10/14(金)日本規格協会のHPで、第34回品質管理検定の合格発表がありました。一関会場の合格率は以下の結果でした。

第34回品質管理検定の合格率

	1級	2級	3級	4級
受検者数(一関)	3名	25名	148名	53名
合格率%(一関)	0	4.0	56.1	88.7
合格率%(全国)	10.4	25.2	54.4	85.9

=今後の日程=

- 11月初旬 試験結果通知書発送(日本規格協会→県南技研)
- 11月初旬 試験結果通知書発送(県南技研→一関会場受検者)

次の第35回品質管理検定は、来年3月20日(日)に予定されておりますが、最寄りの会場は仙台となります。当センターでは、11月に品質管理入門講座の開催を予定しておりますので、ご活用下さい。

Topics

一関市ものづくり人材育成事業 3次元CAD基礎講座開催

今年度2回目となる3次元CAD基礎講座を9/27~9/28の2日間コースで開催し、8名が参加しました。参加者からは、「社内での治具の開発、設計に生かせる」、「実際の操作を進めながら、ポイントの説明があり、素人でも分かりやすい研修だった」等の感想を頂きました。



3次元CAD基礎講座(2回目)の様子

第3水曜日は・・・ イブニングの日

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加頂けますようお願いいたします。

『第230回産学官イブニング研究交流会』へのご案内

令和4年度一関市BCPセミナーと併催

日時：12月21日(水) 講演の部 15:30~17:00 ホテル松の薫一関
交流会の部 17:00~18:30 ホテル松の薫一関

講演：①事業継続力強化計画(ジギョケイ)策定支援と認定制度について
②BCPの取組事例紹介 *詳細は後日ご案内いたします。

蛍光X線分析装置や走査型電子顕微鏡などは、固体の元素濃度を直接測定することが可能です。しかし、標準物質の種類が少なく、ICP-AESや原子吸光分析等に比べると定量の精度は劣る場合があります。

ICP-AESや原子吸光分析の場合、一般的に溶液での分析を行います。そのため、固体試料の場合は酸やアルカリなどで溶液化する必要があります。その際は、測定対象元素の損失（揮散、沈殿など）に注意が必要です。

溶液化には、ビーカーに試料と酸を投入し加熱する方法（図1、開放系）や、フッ素容器を使用した密閉系、炭酸塩と試料を混合し白金るつぼ等で加熱するアルカリ融解法などがあります。各酸の特徴を表に示します。測定する元素や使用する分析装置によって、試薬等を選択する必要がありますので、お気軽にご相談ください。



図1 湿式分解の一例（白煙硫酸）

酸	特徴
塩酸	水素よりイオン化傾向が高い物質の溶解に向く。ヒ素等は揮散しやすい
硝酸	金属の溶解に向く。アルミニウムやクロムは不動態化
硫酸	濃硫酸は酸化力を持つ。粘性があるため、ICP-AES等では注意が必要
フッ化水素酸	ガラスなどの溶解に向く。硝酸と併用することで、モリブデン等の溶液化が可能
過塩素酸	高温で高い酸化力を持つ。単独での使用は爆発の危険性があるため、硝酸と併用

	講座名	内容	日程・受講料
1	機器分析講座	各分析機器の測定原理の理解や、実際の操作方法の習得を目指します。 ①蛍光X線分析装置研修 ②赤外分光光度計(FT-IR)研修 ③走査型電子顕微鏡(SEM-EDX)研修	①～③各研修日程調整中 各10:00～16:00 各定員5名 受講料:各2,000円
2	品質管理(QC)検定3級取得支援講座	QC検定3級が認定する知識と能力は、QC七つ道具の使い方をほぼ理解しており、改善の進め方の支援・指導を受ければ、職場において発生する問題をQC的問題解決法により、解決していくことができ、品質管理の実践についても、知識としては理解しているレベルです。	R4.11月4日・11日・18日 9時～17時 定員15名 受講料:3,000円
3	粒子測定装置習得講座	純水・水道水・ウルトラファインバブル水、それぞれの測定実習を行い、それぞれの液中に含まれる粒子の比較を行います。普段お使いになっている“水”の持込測定も可能です。	R4.4月～R5.2月迄 1時間程度(事前予約) 1,000円 各回1社
4	栄養成分分析装置習得講座	成分測定を行うための前処理と装置の原理について説明後、実習を行います。実習で使用するサンプルは、持ち込みを原則とします。	R4.4月～R5.2月迄 1時間程度(事前予約) 1,000円 各回1社
5	ガスクロマトグラフ質量分析装置習得講座	基本的な原理や前処理の説明後、香気成分やアウトガス分析の実習を行います。	R4.4月～R5.2月迄 半日(事前予約) 3,000円 各回1社